

償却資産申告書（償却資産課税台帳）（様式第26号）の記載例

\* 申告書の提出日（郵送の場合発送日）を記入してください。

\* 「飯山市長」と記入してください。（資産の所在する市町村長名）

3 項 個人番号又は法人番号

\* 個人番号（マイナンバー）又は法人番号を記入してください。

4 項 事業種目

\* 事業の種目を具体的に記入してください。

\* 法人の場合は、資本金又は出資金等も記入してください。

5 項 事業開始年月

\* 事業を開始した年月を記入してください。

6 項 この申告に应答する者の係及び氏名

\* 申告内容について、直接应答される者の係名・氏名・電話番号を記入してください。

7 項 税理士等の氏名

\* 税理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。

8～14 項

\* 該当するものに○印をしてください。

15 項 市内における事業所等資産の所在地

\* 資産の所在地を記入してください。

\* 所在地が2カ所以上ある場合は、それぞれの所在地名を記入し、その主たる場所の番号に○印をしてください。

16 項 借用資産

\* 借用資産の有無について、該当する方を○印をしてください。

\* 借用資産のある場合には、借主の名称等を記入してください。

17 項 所有区分

\* 該当する方を○印してください。

18 項 備考

補足説明等にお使いください。

記入例

\* 資産の増減なし

\* 該当資産なし

\* 社名変更・住所変更（令和7年10月）

\* 廃業（令和7年8月）

1 項 所有者の住所

\* 住所（又は納税通知書送付先）及び電話番号を記入し、ふりがなを付してください。

\* 方書（ビル名等）がある場合は、具体的に記入してください。

2 項 所有者の氏名

\* 氏名を記入し、ふりがなを付してください。

\* 法人の場合は、その名称及び代表者の氏名を記入してください。

\* 屋号があれば記入してください。

(イ)欄 前年前に取得したもの

\* 前年度の1月1日現在の償却資産の取得価額の合計を既に記載しています。

\* 初めて申告される方は、記入してください。

(ロ)欄 前年中に減少したもの

\* 前年の1月2日から今年1月1日までに減少した資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

(ハ)欄 前年中に取得したもの

\* 前年の1月2日から今年1月1日までに取得した資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

(ニ)欄 計（イ－ロ＋ハ）

\* 今年度1月1日現在の償却資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

\* 次の算式により求めます。

（イ）－（ロ）＋（ハ）＝（ニ）

令和 8 年 1 月 15 日

令和 8 年度

飯 山 市 長 殿

償却資産申告書（償却資産課税台帳）

※ 所 有 者 コ ー ド

5001234

1 住所

飯山市大字飯山9999番地

2 氏名

株式会社 飯山

代表取締役 飯山 太郎

3 個人番号又は法人番号

4 事業種目

一般産業用機械製造業

5 事業開始年月

平成 3 年 4 月

6 この申告に应答する者の係及び氏名

飯山 次郎

7 税理士等の氏名

信州 一郎

8 短縮耐用年数の承認

9 増加償却の届出

10 非課税該当資産

11 課税標準の特例

12 特別償却又は圧縮記帳

13 税務会計上の償却方法

14 青色申告

15 市（区）町村内における事業所等資産の所在地

16 借用資産

17 事業所用家屋の所有区分

18 備考（添付書類等）

資産の種類	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計 (イ) - (ロ) + (ハ)
	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円
1 構築物	8 960 000			8 960 000
2 機械及び装置	11 635 000	1 220 000	4 280 000	14 695 000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	2 600 000	400 000	552 100	2 752 100
7 合計	23 195 000	1 620 000	4 832 100	26 407 100

資産の種類	※ 評価額 (ホ)	※ 決定価格 (ヘ)	※ 課税標準額 (ト)
	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円	十億 百万 千 円
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

電算処理により全資産申告をされる場合は記入してください。

資産の増減なし

種類別明細書(増加資産・全資産用)の記載例

国庫補助金等で取得した資産で取得価格の圧縮をしたものについては、圧縮前の取得価額を記載してください。

2枚のうち1枚目というようにページ数を記載してください。

所 有 者 コ ー ド		種類別明細書(増加資産・全資産用)										所 有 者 氏 名		枚のうち										
														枚 目										
行 番 号	資 産 の 種 類	資 産 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月	(イ) 取 得 価 額				(ロ) 耐 用 年 数	(ハ) 価 額	課 税 標 準 の 特 例	課 税 標 準 額	増 加 事 由	摘 要									
					年 号	年	月	十 億	百 万	千	円	年 数	十 億	百 万	千	円	率	コード	十 億	百 万	千	円	1・2 3・4	
01																								
02												0.												
03												0.												
04												0.												
05																								
06																								
07																								
08																								
09																								
10																								
11												0.												
12												0.												
13																								
14																								
15												0.												
小 計																								

資産を購入・構築等した年月を記載してください。  
\*年号は数字で記載してください。  
「昭和」⇒ 3  
「平成」⇒ 4  
「令和」⇒ 5  
  
\*1月1日に取得した場合は、その前年の12月を取得月としてください。

耐用年数表に定める耐用年数を記載してください。  
1.中古資産等を取得し、税務会計上見積耐用年数によっている場合は、その見積耐用年数  
2.短縮耐用年数によっている場合は、その耐用年数

ページごとに取得価額の合計額を記載してください。

国庫補助金等で取得した資産で取得価格の圧縮をしたものについては、圧縮前の取得価額を記載してください。

2枚のうち1枚目というようにページ数を記載してください。

摘要欄には次のような事項を記載してください。  
1.非課税または課税標準の特例の適用がある資産についてはその適用内容  
2.他の市区町村からの移動等により受け入れた資産については移動年月  
3.その他、価額の決定の必要な事項

（資産の種類欄には、下記の区分番号を記入してください。）

番号	種 類 区 分	番号	種 類 区 分
1	構 築 物	4	航 空 機
2	機 械 及 び 装 置	5	車 両 及 び 運 搬 具
3	船	6	工 具、器 具 及 び 備 品

注意「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他 のいずれかに○印を付けてください。

種類別明細書(減少資産用)の記載例

該当資産に付された資産コード  
(物件番号)を記載してください。

減少した資産の取得価額を記載し、  
該当する減少の事由及び区分を○で囲んでください。

2枚のうち1枚目というように  
ページ数を記載してください。

種類別明細書(減少資産用)														
所有 者 コ ー ド														
行 番 号	資産 の 種 類	減 消 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月		取 得 価 額	耐 用 年 数	申 告 年 度	減 少 の 事 由 及 び 区 分		摘 要	枚 数	枚 目
					年 号	月				1 売却 2 移動 3 その他	1 全部 2 一部			
01										1・2・3・4	1・2			
02										1・2・3・4	1・2			
03										1・2・3・4	1・2			
04										1・2・3・4	1・2			
05										1・2・3・4	1・2			
06										1・2・3・4	1・2			
07														
08														
09														
10														
11										1・2・3・4	1・2			
12										1・2・3・4	1・2			
13										1・2・3・4	1・2			
14										1・2・3・4	1・2			
15										1・2・3・4	1・2			
小 計														

資産を購入・構築した年  
月を記載してください。

\*年号は数字で記載して  
ください。

「昭和」⇒ 3  
「平成」⇒ 4  
「令和」⇒ 5

\*1月1日に取得した  
場合は、その前年の12  
月を取得月としてくだ  
さい。

資産の一部が減少した場合は

- 1.数量欄に「減少した数量」を記載
- 2.取得価額欄に「減少分の取得価額」を記載
- 3.減少区分「2(一部)」を○で囲む
- 4.摘要欄に「取得価額・数量」と「減少した額・数量」を記載

「申告年度欄」は記載  
の必要はありません。

当該資産が減少したことについ  
て、必要な事項を適宜記載してく  
ださい。

(例)

- ・(株)〇〇〇〇に売却
- ・△△工場へ移設

数字で記載してください。

「構 築 物」⇒ 1  
「機 械 装 置」⇒ 2  
「船 舶」⇒ 3  
「航 空 機」⇒ 4  
「車両・運搬具」⇒ 5  
「工具・器具・備品」⇒ 6

ページごとに取得価額の合計額を記  
載してください。